経営戦略

■第７次長期経営計画（平成１９年４月～平成２２年３月）の概要

第７次長期経営計画は、環境の変化に機敏に対応し、生き残りをかけた戦いに勝ち抜くため、「地域から頼られるリレーションシップバンクを目指して」を副題とし、「健全性・適切性の確保」「顧客保護等管理態勢の確立」「収益力の強化・拡大」「営業戦略の強化」「業務の効率化」を５本柱に据えております。

当行は「地域から頼られるリレーションシップバンク」を確実に実現するために、全役員、職員の英知を結集して果敢に挑戦します。

第７次長期経営計画の基本方針

健全性・適切性の確保

内部統制態勢の構築とともに、資本とリスクの適切な管理、また、内部統制・ガバナンスの強化が最重要課題となっています。

公共的使命、社会的責任を自覚するとともに確固たる倫理観を持って行動し、各種法令や行内規程等、コンプライアンスを遵守した業務の運営に努めます。

顧客保護等管理態勢の確立

「金融商品取引法」や新しい「金融検査マニュアル」により、顧客保護等管理態勢の整備、確立を求められているほか、預金者保護法や個人情報保護法などが社会一般に周知され、銀行に対する社会の要求レベルは今まで以上に高くなっています。

顧客への説明態勢及び相談苦情処理態勢の強化を図るとともに、顧客情報管理を強化し、適切な顧客保護等管理態勢の確立を図ります。

収益力の強化・拡大

調達・運用構造の改善による資金収益の拡大及び手数料収入の増強に全力で取り組むとともに、新たな不良債権の発生防止や経営改善先のランクアップ・事業再生への取り組みなど債権管理・延滞管理の強化、経費の削減等の経営の合理化を推進します。

営業戦略の強化

地域金融機関として地域経済の発展に寄与するため、魅力ある商品の開発やお客様満足度の向上、地元企業の育成・支援に努め、各地域における預貸金シェアの拡大に向け、地域密着の営業を推進します。

業務の効率化

限られた経営資源を有効に活用し、業務全般について抜本的な見直しを加え、徹底した事務の合理化、機械化による業務の効率化を推進するとともに、人材の育成と活用に取り組み、渉外力・情報提供力の強化を推進します。

地域から頼られるリレーションシップバンクを目指して

健全性・適切性の確保

（1）内部統制態勢の構築
（2）コンプライアンス態勢の確立
（3）リスク管理の高度化

顧客保護等管理態勢の確立

（1）金融検査マニュアルへの対応
（2）個人情報保護法への対応
（3）本人確認法への対応
（4）預金保険法への対応

収益力の強化・拡大

（1）収益管理体制の強化
（2）フィービジネスの拡大
（3）債権管理・延滞管理の強化
（4）経費の削減
（5）自己資本比率の向上

営業戦略の強化

（1）法人戦略　（2）個人戦略　（3）商品戦略
（4）お客様満足度の向上　（5）地域密着の推進

業務の効率化

（1）事務の合理化　（2）信用格付・自己査定及び審査の一体化
（3）店舗戦略　（4）人材の育成と活用

■『プランフェニックス』の概要

第７次長期経営計画の実効性を高め、「新生東和」として生まれ変わる改革のスピードを加速させ、将来に向けた確かなステップアップを実現するため、平成１９年度下期から平成２１年度を集中改善期間とする収益改善計画「プランフェニックス」に基づき、役職員が一丸となって努力しております。

収益力の強化

営業力の強化　―「お客様第一主義」の徹底―

- 現場主義・基本動作の重視によるビジネスチャンスの発掘
- 「ウォーキング・アラウンド・マネージメント」
  - ・頭取以下全マネージメントは靴底を減らしてお客様まわりを徹底
- 支店長・役席・行員も靴底を減らすことで先数を増やしビジネスチャンスを見つける
- 営業現場への経営資源の傾斜投入
  - ・役員の営業店配置　・本部組織のスリム化
- 貸出金戦略
  - ・貸出金ポートフォリオの改善とリスク分散　・着実な取引先数の増加に取り組む
  - ・事業者向提携ローンの開発と推進　・取引先の実態把握とニーズの発掘
  - ・住宅ローン　・個人ローンの推進
- 情報収集の強化
  - ・母店制の推進　・ブロック推進会議による情報の共有化と推進
- 預かり資産の増加(公金預金の強化、新商品発売)　● 外為手数料の増強(他行との連携)

経費の削減

- 事務費の５%削減　● 役職員人件費の削減

資産の健全化と効率化 ― 成長に向けた資産再構築 ―

- 貸出資産の健全化(企業再生支援強化・不稼働債権の圧縮)
  - ・他社との合弁事業等による再生処理の促進　・不良債権処理の促進　・取引先の経営改善指導の強化
- 効率的な有価証券運用(利回りの向上)　● 所有不動産の見直し(非効率資産の圧縮)
- 店舗・ATMの効率化　● 関連会社等を含めた業務の効率化

コンプライアンス態勢・リスク管理態勢の強化 ―「ノーブレスオブリージ」の徹底―

- 経営管理態勢・法令等遵守態勢の強化
- 内部統制に自信のある新生東和銀行としての出発
  - ・「経営責任調査委員会」による責任の明確化　・「外部評価委員会」によるガバナンスの検証
- コンプライアンス統括部の設置　●「役員倫理規程」の制定
- 上下左右自由に物申しうる風通しのいい行風の確立
- 信用リスク管理態勢の強化
  - ・審査部門と査定部門の分離　・クレジット・リミットの設定
- 市場リスク管理態勢の強化

自己資本の強化